

リデルライトホーム 御中



# スキンケアと紙おむつ

2023年2月16日  
大王製紙株式会社  
ヒューマン・ファミリーケア営業本部  
南九州営業所  
八ヶ代 香織



# 皮膚について

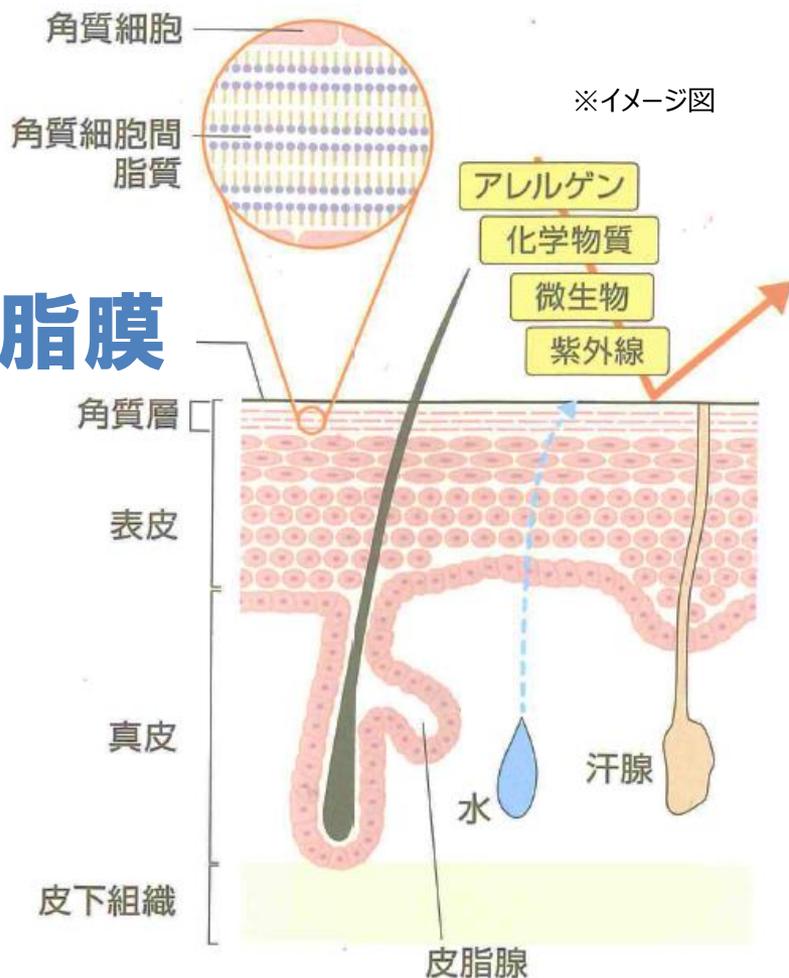
---



# 角質層の役割

## 皮膚のバリア機能

## 皮脂膜



## ・PH4~6 : 弱酸性

角質細胞層は80%がケラチンと角質細胞間脂質と天然保湿因子からなる複雑な層



角質層水分保持  
柔軟性の維持  
皮膚のなめらかさを保つ

※画像 = 「看護の現場ですぐに役立つ排泄ケアのキホン」秀和システム/2018年7月20日発行より引用

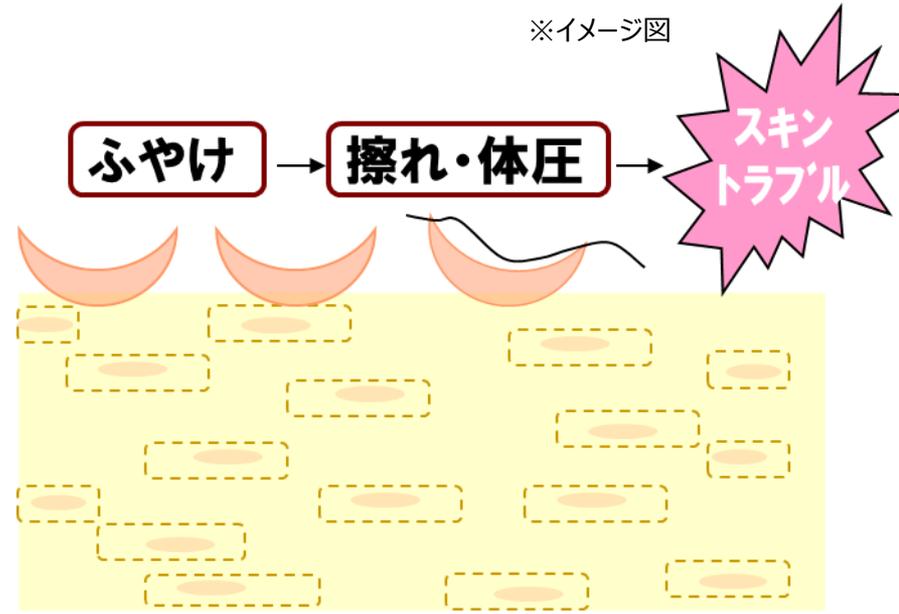


# 高齢者の皮膚とトラブルの原因

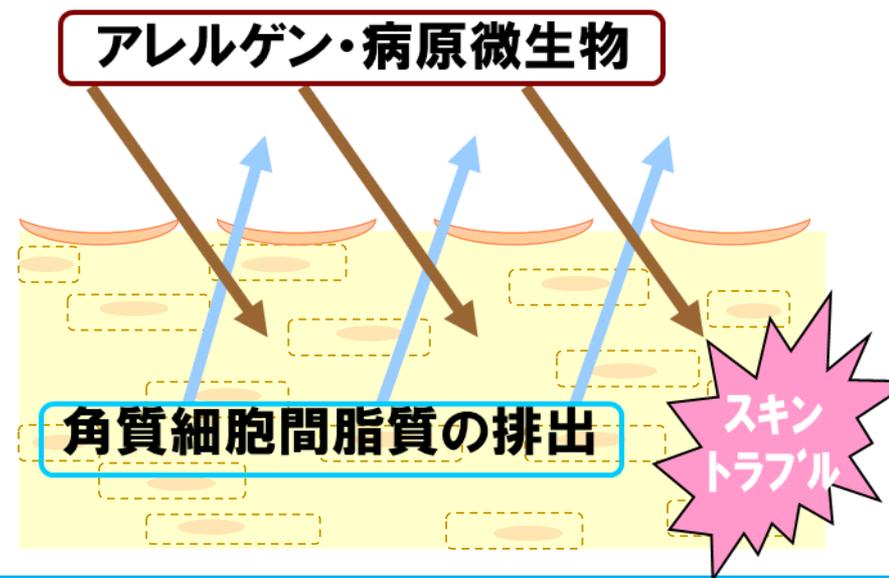
※イメージ図

発汗による汗や排泄による排泄物等の  
アルカリ性刺激で皮脂膜が除去

- ① 湿潤時(汗・尿等)  
角質層のふやけ(浸軟)  
↓  
素材による擦れ、体圧  
↓  
スキントラブル



- ② 乾燥時  
角質細胞間脂質(セラミド等)減少  
↓  
アレルギー・病原微生物の  
セラミド間への進入  
↓  
スキントラブル

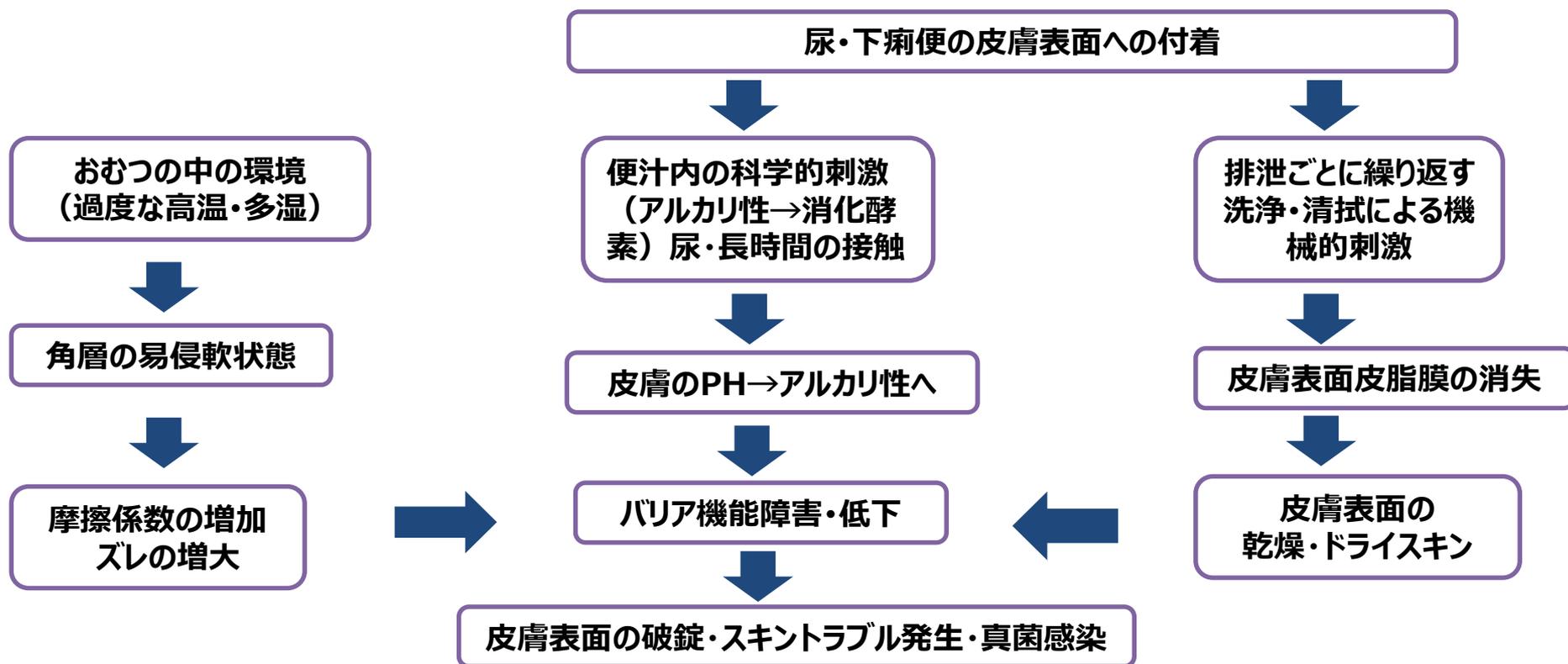




# スキントラブルについて

	褥瘡	IAD
定義	身体に加わった外力は骨と皮膚表層の間の軟部組織の血流を低下、あるいは停止させる。この状況が一定時間持続されると組織は不可逆的な阻血性障害に陥り褥瘡となる	排泄物（尿または便、あるいは両者）の付着に関連して生じる皮膚障害
原因	摩擦、ずれ、圧迫	排泄物（尿や便）や皮膚の浸軟
発生部位	骨突出部	会陰部または性器周辺の皮膚、肛門周辺やパットや下着が接触する皮膚または皮膚のしわの部分、排泄物が付着する範囲すべてで発生する可能性がある

■ IADとは、尿または便（あるいは両方）が皮膚に接触することにより生じる皮膚炎である。



■ 褥瘡とは、身体に加わった外力は骨と皮膚表層の間の軟部組織の血流を低下、あるいは停止させる。この状況が一定時間持続されると組織は不可逆的な阻血性障害に陥り褥瘡となる。

## 「外力」と「応力」

1) **外力**・・・生体の外部から加わる力

- ・ (1) 垂直方向の圧迫・圧力
- ・ (2) 水平方向のずれ力・摩擦力

2) **応力**・・・外力が物体に作用した時に、それに対応してバランスをとるために生じる内部の力

※ある方向の外力（例：皮膚に対して垂直の力）が加わった場合：生体組織内でも垂直な力の方向が維持されるわけではなく、外力は生体内で応力となり、様々な方向に働く。

## 応力

- ・圧縮
- ・せん断（ずれ力）
- ・引っ張り

×

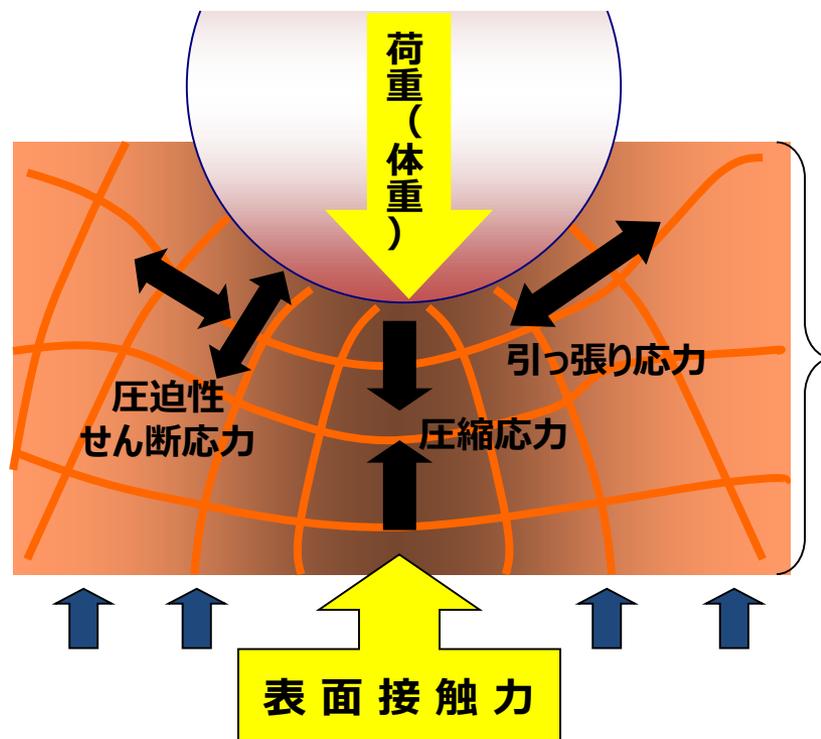
時間

×

頻度

QOL向上を重視したケア推進により、**頻度**は増加傾向にあります。

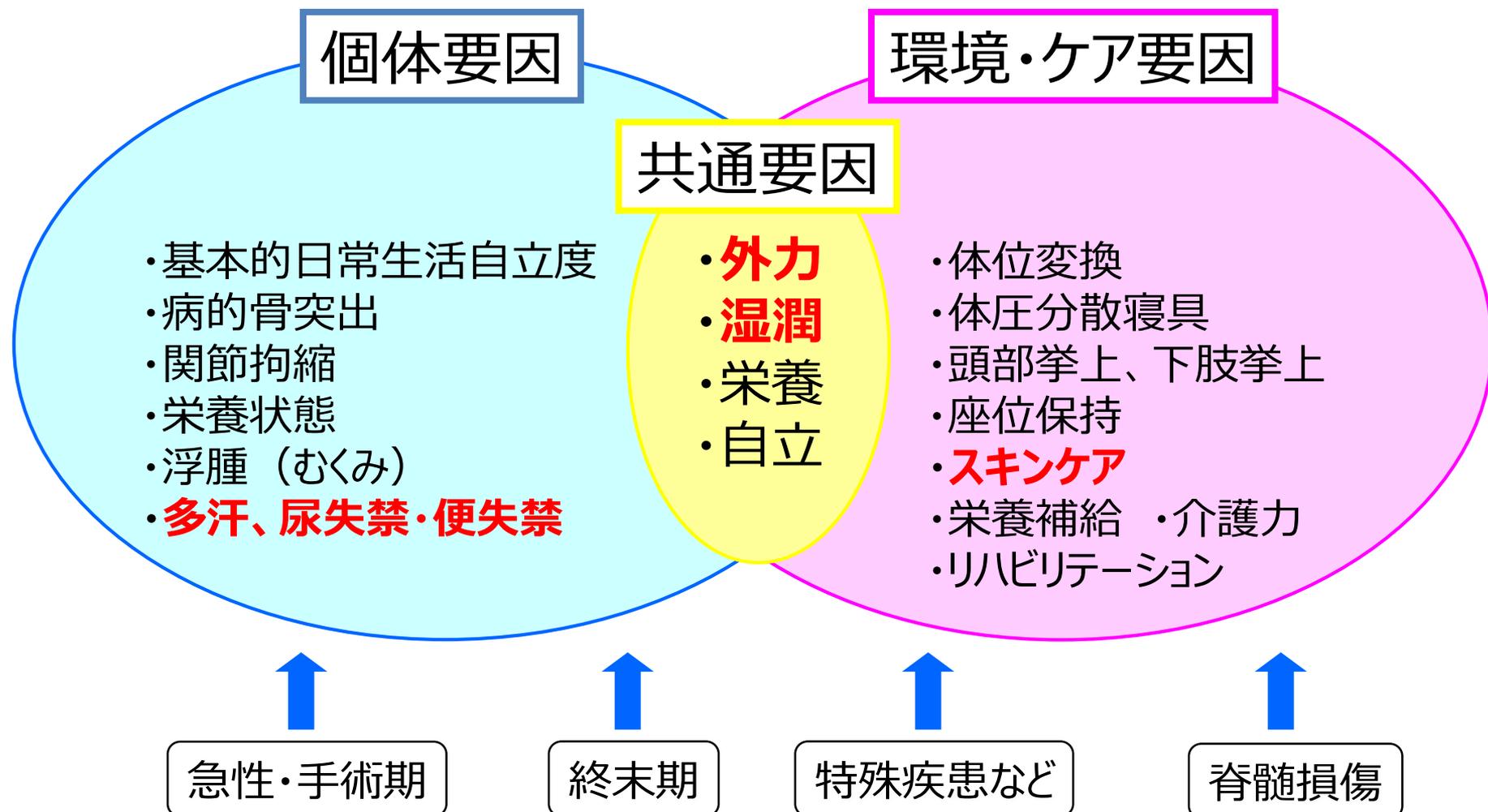
## 応力のイメージ





# 褥瘡発生の要因

褥瘡発生の概念図（資料：日本褥瘡学会「褥瘡発生の概念図」）





# 褥瘡発生の要因

## 褥瘡が発生しやすい状況

### 個体要因

寝たきりの高齢者

- ・自立体位変換困難
- ・廃用性萎縮 ・低栄養

疾患急性期

- ・発熱・疼痛・自立度低下

周術期

- ・手術前安静
- ・手術中体位
- ・手術中低血圧

特殊疾患状態

- ・脊椎損傷などで 車椅子生活
- ・神経変性疾患
- ・急性薬物中毒

終末期

- ・疼痛・呼吸困難・低栄養

### 環境・ケア要因

- ・スキンケア困難
- ・家庭内暴力  
(拘束・ネグレクト)

・ ICU

・ 身体抑制

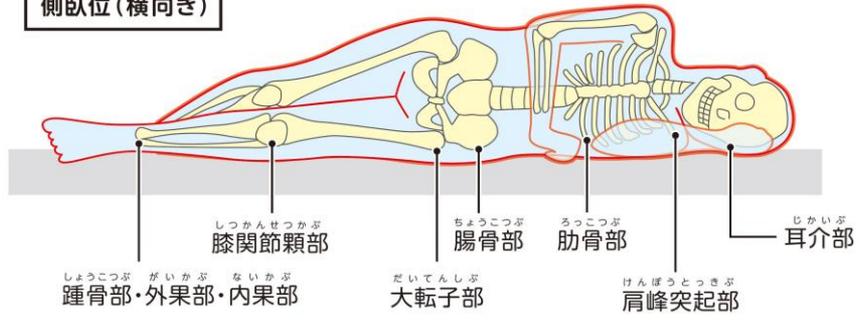


# 褥瘡がしやすい部位

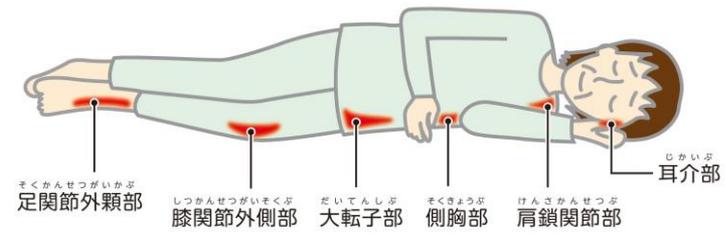
## イメージ図

大王製紙(株)にてイラスト作成

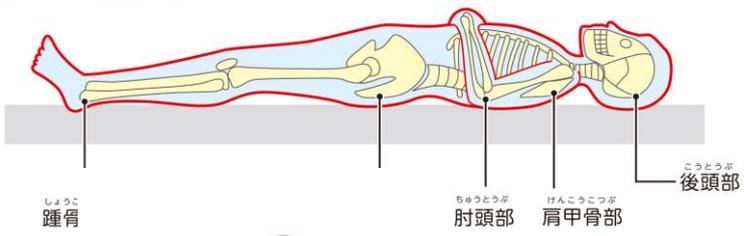
そくが い 側臥位(横向き)



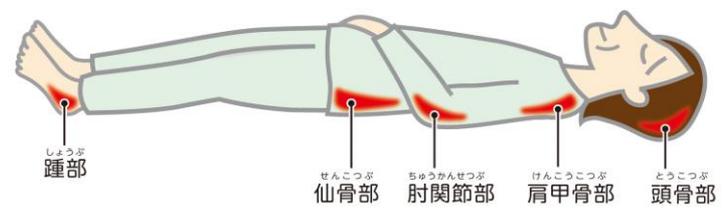
そくが い 側臥位(横向き)



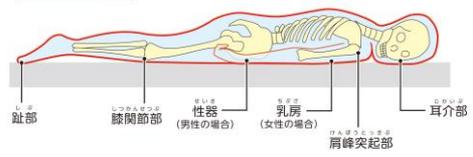
ぎょうが い 仰臥位(仰向き)



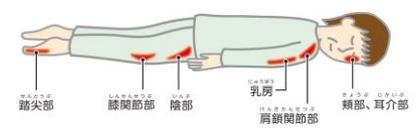
ぎょうが い 仰臥位(仰向き)



ふくせ い 腹臥位(うつ伏せ)



ふくせ い 腹臥位(うつ伏せ)





# 排泄ケアにおける予防とは

---



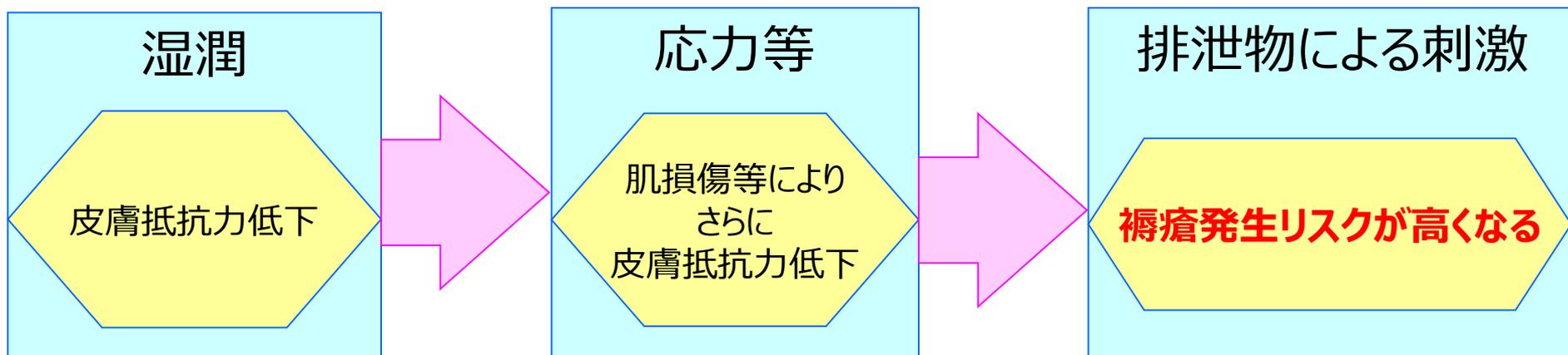
# 排泄ケアにおける予防

## 「排泄ケア」における予防とは？

紙おむつが関わる褥瘡発生リスクを軽減することで発生要因の絞込みと対応が迅速にできることが重要です。

## 紙おむつがもたらす湿潤からの連鎖リスクとは？

湿潤により皮膚を保護している皮脂膜が取り除かれバリア機能が低下すると、**浸軟・損傷・感染**など皮膚の抵抗力が低下します。



アテントは紙おむつにおいて、湿潤からの連鎖リスクを軽減する事を目標としています。

## 湿潤の軽減

おむつ内（湿潤）  
環境の改善

皮膚抵抗力低下を  
軽減する

**湿度・温度対策**  
おむつ装着による  
リスク軽減

## 肌損傷等の軽減

肌への刺激を軽減

皮膚抵抗力低下を  
軽減する

**紙おむつ自体の  
刺激対策**  
低刺激設計・素材  
製法によるリスク軽減

## 排泄物による刺激の軽減

弱酸性の肌に対して  
強いアルカリ性刺激を軽減

褥瘡発生リスクの軽減

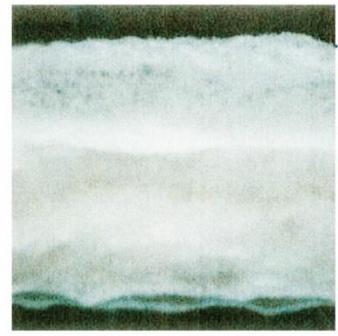
**排泄物が肌に密接する  
ことによる刺激対策**  
排尿・排便（軟・水様便）  
対策によるリスク軽減



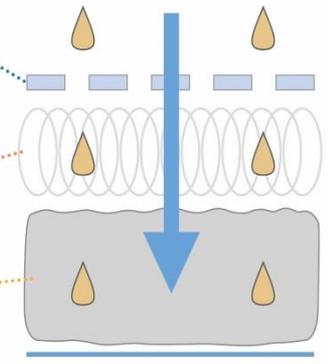
# 排泄物の除去

## 症状・排泄物の量、性状に合わせたおむつ、失禁ケア用品の使用

### Sケア軟便安心パッド



- 第1層 表面シート**  
軟便や下痢便も目詰まりしにくい網目状のシート。2層目へ素早く引き込んで表面に残さないから、さらさら感が持続。
- 第2層 ろ過シート**  
かさ高のシートで便をせき止め、水分を効率よく3層目に導いて拡がりを抑える。
- 第3層 吸収体**  
1層目と2層目で引き込んだ水分をポリマーが素早く吸収。内側に封じ込め逆戻りを防止。

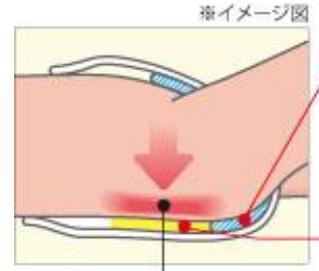


※イメージ図

### Sケア前側吸収おしりさらさらパッド

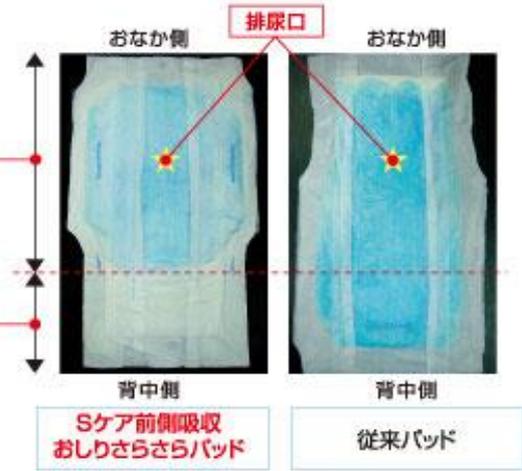


排尿口付近の「前側吸収体ゾーン」で尿をスポット吸収。  
従来のパッドに比べて、おしり側への尿拡散を軽減。



スキントラブルが起りやすい部分  
(尾骨・仙骨部)

- 前側吸収体ゾーン**  
排尿口付近で尿をスポット吸収するので、体重がかかりやすい部分の尿汚染と逆戻りを防ぎます。
- 超うす吸収体ゾーン**  
体重がかかりやすい部分のおむつの厚みを薄くしています。





# スキンケアのポイント

## 清潔保持

《皮膚洗浄・保湿・保護》

【洗浄】 皮脂の除去を防ぐため弱酸性石けん、  
または陰部洗浄液を使用した洗浄を  
**1～2回/日**行う。

(洗浄方法) : 愛護的な泡を基本とした洗浄。

※ゴシゴシとこすらない。

すすぎ残しがないようたっぷりの微温湯（約300ml）ですすぐ。  
洗浄後は、摩擦や力を入れないよう  
**皮膚を押さえながら余分な水分をふき取る。**

【保湿・保護】 洗浄後10分以内に保湿・保護剤を塗布  
水分の蒸発を防ぎお肌の状態を整え、浸軟、ドライスキンを予防する。

ドライタイプの大判サイズ  
洗浄後の水分を素早く  
吸収！





# すすぎがいらぬ洗淨液

洗淨・保湿・保護の3つの成分を配合！

## ①洗淨 天然由来の洗淨成分でお肌を清潔に

・植物由来の石けん配合。

## ②保湿 植物由来成分を中心に10種を採用

・3種のヒアルロン酸配合。

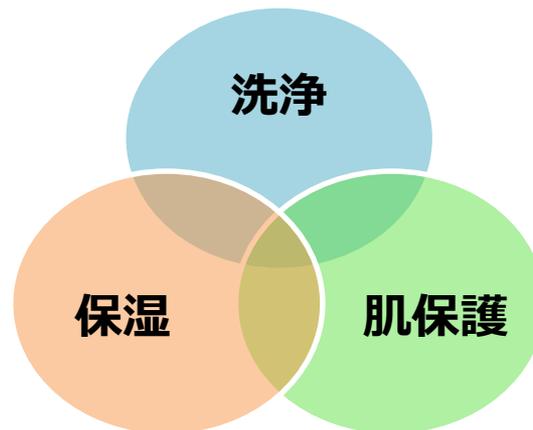
・5種の和漢植物由来保湿成分配合。※1

・トリロリン由来の保湿成分配合。※2

## ③肌保護 2種の肌保護成分を採用

・セラミド様肌保護成分配合。※3

・なめらか整肌成分配合。※4



※1 八卦樹皮エキス、アカヤジ 朽根エキス、ヒオウギエキス、マツヨイグサ種子、チャ葉エキス

※2 グリコシルトレハロース、加水分解水添テソフン

※3 (メタクリル酸グリセリルアミト`エチル/メタクリル酸ステアリル)コホ`リマー

※4 ホ`リクオコウム-51

## (参考文献)

- 照林社 エキスパートナース 2018年 6月号
- 照林社 エキスパートナース 2019年 9月号
- 照林社 IAD-setに基づく予防と管理 IAD 2019年 第1版
- 照林社 褥瘡・創傷・スキンケア WOCナースの知恵袋 2019年 第1版
  
- 上記を元に大王製紙（株）にて編集